

森田としかずニュースレター

MORI MORI PRESS

January

1

2017 新春号

tel.048-530-6001

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)

〒360-0831 熊谷市久保島1003-2 fax.048-530-6002

平日 9:00~17:00 (土・日・祝日はお休み)

www.morita-toshikazu.com

Eメール mmo@morita-toshikazu.com

mori_morita

森田俊和

森田としかず

検索



平成29年、飛び立つ年へ!

新たな年を迎えました。皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は、衆参同時の選挙か、あるいは年末年始の選挙か、と常に緊張した一年でした。結局選挙はありませんでしたが、各地区を回り、また集会や行事を行う中で、多くのご支援、ご声援をいただき、お陰様で一年間の活動を続けることができました。皆様のお力添えに深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

今年は「いよいよ勝負」の年と思います。早ければ2月過ぎ、その先に行くと、秋から冬の可能性が高いですが、いずれにしても、任期の折り返しを過ぎましたので、いつその時が来てもおかしくない状況です。

時期が近いから、何かが変わるということはありません。ただひたすらに、皆様をお訪ねし、お声を聞き、また私の思いをお伝えする、ということに徹するつもりです。そして、皆様の代弁者たる議員としてふさわしい人間になれるよう、勉強し、自分を磨きたいと思います。

今年は酉年です。今は地を這い、米粒を一つ一つ拾う、鶏のような活動をしています。いつかは大きく羽ばたき、大きな空を飛び回れるよう精進していきたいと思います。

以下、昨年勉強したこと、あるいはお寄せいただいた皆様のお声を元にして、私の国政に対する考えを改めてまとめましたのでご一読いただければ幸いです。

森田 俊和



今よりもっと幸せな
日本をつくるために

未来のために、今、動く!

1. 暮らしを守る

社会保障(年金、医療、福祉)の充実を図り、誰もが安心して暮らせる仕組みをつくりまします。そのために、所得に応じ、世代間の均衡を考え、分配のあり方を見直します。

2. 平和な国であり続ける

非核、専守防衛を前提として、世界において日本が果たすべき役割を追求します。世界の国々との対話を通して、戦争をしない、平和に暮らせる国をつくりまします。

3. 教育の充実

知識・技術を得るための教育だけでなく、人格を育む教育を充実させまします。

成長から成熟へ

アベノミクスによる公共事業費の上乗せ、「異次元」の金融緩和などが行われてきましたが、その成果は見えてきていません。3年間で21兆円の税収が増えたという総理の発言がありますが、これには消費税増税も含まれており、単に景気が上向いた故の税収増とは言えません。また、この裏側には同じく3年間で94兆円の借金が増えたという事実もあります。この事実から判断するに、税金をつぎ込んだ額よりも経済的な効果が低いということが言えます。

資料1にあるように、現在日本の財政は、100兆円の歳出のうち、借金の返済、利息に充てる費用が22.5兆円となっています。また、歳入に目を向けると、37.2兆円を借金に頼っています。一軒の家に例えるならば、30万円の給料収入の家で、毎月40万円の生活をするために常に新しい借金をし、借金を返すためにまた借金をしているという状態です。今、良い暮らしをしたいがために、多額の借金を子や孫に残すことになってしまっており、しかも借金の額を毎年大幅に増やしているという状況です。(資料2) 私たちが自分の家の生計を立てる際には、自分の給料の中で、生活し、借金も返済していくように計画を立てるはずですが、国の財政も同じことで、今、身の丈以上の暮らしをすれば、後で大変な思いをすることになります。

資料1 一般会計の歳入・歳出



借金の返済内訳: 利子8.8兆円・債務償還費13.7兆円

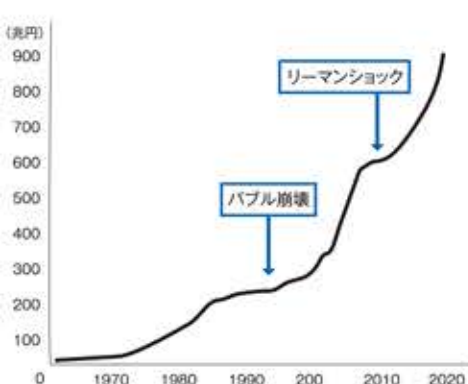
ギリシャは財政破綻したために、国際的に管理された財政運営を余儀なくされ、消費税や所得税の増税、年金の削減、医療費の負担増、港湾や鉄道など国有資産の処分など、大きな痛みを伴う急激な改革を実施せざるをえなくなりました。「日本はギリシャとは違う」ということも言われます。日本の金融資産は1700兆円あり、日本の国債は国内で消化できている、という理由からです。しかし、今の借金残高1100兆円との差額600兆円は、今のペースで借金を積み増していくと、あと16~17年で埋まってしまう、それ以後は国内だけでは賄いきれなくなります。日本だけ特別、といえる状況は、そう長くは続きません。あと16~17年のうちに、私たち自身で健全な財政運営への道筋を描き、実践していけるかが課題です。

2ページへ

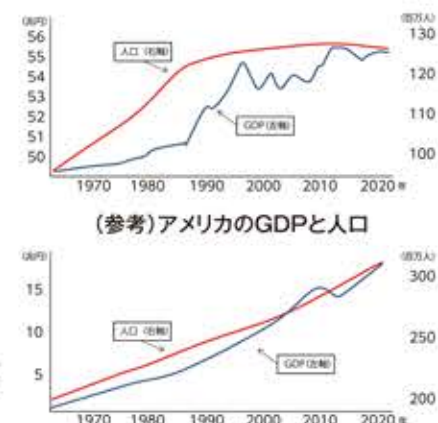
こうした状況を招いた根本的な原因として、日本が成長期から成熟期へ移っているということがあります。資料2にあるとおり、日本の経済と人口は2008年まで伸びてきました。戦後の復興とそれに続く高度成長期を支えてきたのは、人口の増加です。また、農村から都市への流れ、多世代同居から核家族への流れも、購買意欲の上昇につながり、経済成長を支えてきました。アメリカの経済は伸びていますが、その背景には移民の受け入れなどによる一貫した人口増があり、これは日本と決定的に違う点です。

この事実を現状に重ねてみると、今の経済は公共事業や極端な金融緩和などのカンフル剤により何とか規模を維持できているということになります。まずこの現状を直視し、その上で何をすべきかを考え、実行していく必要があります。

資料2 国債残高



資料3 日本のGDPと人口



「幸せ」とは？

国会議員を目指す者として、一番基本的な目的は「幸せな日本をつくること」だと認識しています。しかし、一体幸せとは何でしょうか。これが明確になれば、政治家として目指すべきものが見えてくるはずですが。

アメリカの心理学者アブラハム・マズローは人間の欲求を5段階に分けて説明しています。(資料4)下の欲求がある程度満たされると、上の欲求へと進んでいきます。1つめの「生活・生理の欲求」は食欲や睡眠など生きていくための基本的・本能的な欲求です。次の2つめは「安心・安全の欲求」です。言うまでもなく、安心・安全に暮らしたいということです。安心して暮らせる家があること、賃金など生活の保障、地域の治安が保たれていること、国家間で言えば平和な世の中を求めることなどです。次の3つめは「認知・評価の欲求」です。家族、親族や地域、職場など、自分の居場所をつくりたいという欲求です。4つめは「尊厳の欲求」です。自分自身がプライドを持っていきたいという欲求です。最後の5つめは「自己実現の欲求」です。これは、自分の持てる力を発揮し、意義ある目標、目的を達成することにより満たされます。

資料4 マズローの欲求5段階説



「幸せな日本」をつくるために必要なこと

人間の幸せを上記のようにとらえると、政治が果たすべき役割もはっきりしてきます。冒頭に上げた政策をより詳しく説明します。

1. 暮らしを守る

社会保障(年金、医療、福祉)の充実を図り、誰もが安心して暮らせる仕組みをつくります。そのために、所得に応じ、世代間の均衡を考え、分配のあり方を見直します。

これは、5段階で説明すると、高齢になっても所得が保障されるということで、飲み食いができるという、「生活・生理の欲求」にも関係しますし、生活していく所得があり、医療や介護にも困らず、生涯安心して暮らせるという、「安心・安全の欲求」にも関係してきます。また、分配のあり方を見直すということは、経済的に厳しい環境に置かれている方には今よりも手厚い支援をする

ことになる一方で、経済的に恵まれている人や企業には、より多くの負担をしていただくことになります。負担をしていただく方には、日本という国が存続し、より幸せな国になるために、貢献しているんだ、というように思っていただけるよう、情報公開を徹底し、納得していただけるよう努力したいと考えます。

2. 平和な国であり続ける

非核、専守防衛を前提として、世界において日本が果たすべき役割を追求します。世界の国々との対話を通して、戦争をしない、平和に暮らせる国をつくります。

これは、「安心・安全の欲求」に関係します。戦争が起こっては、明日の命をも知れない、という状況になりますし、直接戦争に関わらなくても、敵対国、敵対組織からテロ攻撃を受ける危険も増します。

先の大戦により300万人の犠牲を払い、唯一の被爆国でもある日本が、世界平和を希求し、その理想に向けて行動することは、私たちの「尊厳の欲求」、あるいは「自己実現の欲求」の充足につながっていくものと考えます。平和主義を掲げ、また宗教的にも寛容な日本が、世界で果たすべき役割は大きいはずです。

3. 教育の充実

知識・技術を得るための教育だけでなく、人格を育む教育を充実させます。

生活をしていくためには、仕事をして稼ぐことが必要です。そのためには知識・技術を得る教育を受けることが必要となります。そして、マズローの理論によれば、より上位の欲求を満たすためには、プライドを持って生きること、また自分の持てる力を発揮し、意義ある目標、目的を達成するために生きることが求められます。これを満たすのは、結局私たち、自分自身です。自らの人格を高めることで、主体的に、責任を持って、世のため人のために行動することが可能となります。学校教育と共に、地域や職場での教育を充実させ、知識・技術に加えて、人格を高める教育を進めていくことが、幸せな日本をつくると考えます。

幸せを求める時代へ

「世界で一番貧しい大統領」と言われたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領は、「人間は経済発展するために生まれてきたのではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです。」

と言いました。また、「貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことです。」とも言っています。

二宮尊徳は「たらいの水」の例え話で人の道を説きました。「たらいの水を自分の方に引き寄せようとすると、水は向こうに逃げてしまいます。相手にあげようと押すと、こちらに帰ってきます。幸福を独り占めしようとすると逃げてしまいますが、相手のために尽くしていると幸福は勝手にやってくるのです。」

宝くじは今10億円当たるそうです。私はよく、座談会の時に「10億円と引き替えに、差し出せないものがありますか?」と皆さんに質問します。しばらく考える方が多いのですが、答えとして返ってくるのは、たいいてい「健康」、「命」という順番です。その次に「家族」と続きます。(「夫を持って行かれてもいいけど、子どもや孫は困る」という珍回答も)

生活するためにお金を稼いでいたのが、いつの間にかお金を稼ぐことが目的になっているということもあろうかと思います。衣食住がそれなりに満たされ、家族、親族、友人があり、プライドを持った生き方をし、自分の持てる力を発揮して、世のため人のために行動する。私たち一人一人が幸せな人生のイメージを持ち、行動することで、日本は今よりも、もっと幸せな国になります。

私は、今よりも幸せな日本をつくるために、今年も行動していきます。



ホセ・ムヒカ元大統領のスピーチは絵本にもなりました。

森田としかず 平成28年の活動報告

Morita's Report

ご挨拶回り

歩く歩く歩く。

1年間、思いを伝えるべくひたすらに各地区を歩きました。

百聞は一見に如かず。車で走っているだけではわからない、各地区の状況を見ることができました。

また、皆様のお宅をお訪ねして、課題を伺うことができました。皆様の課題を受けとめることは、私が政策立案する際の血となり、肉となります。



ミニ集会

各地区の集会所で、ご自宅の広間で、会社の会議室で、あるいは、お寺の本堂で…。

あらゆる場所や時間帯で、約300回のミニ集会を行うことができました。

私の国政への思い、日本の現状、そして、幸せな日本をつくるためには、どんな取り組みが必要なのか、私なりの考えをお伝えしました。また、皆様からも、日頃どんなことに幸せを感じるか、また、今よりもっと幸せな地域や国にするためにはどんな取り組みが必要か、様々なご意見を伺いました。

来るべき時に、皆様の代弁者として仕事ができるよう、お声を受けとめ、自分の考えとしてまとめていきます。



ミニ集会でいただいた 皆様からのご意見

●具体的に地域振興のために何ができるか、提案してほしい！（熊谷の方から）

森田の考え…都心や高速道路との道路アクセスが良くありません。上尾バイパスの早期完成により圏央道との接続を円滑にし、熊谷、行田、川里地区の商工業的な立地条件を改善することで、働く場所の確保に努めます。

●公職者でなくとも、日本の幸せ向上に貢献した人を評価する「クール・ジャパニーズ賞」を設けるべき！

森田の考え…これからの日本では、いかにして幸せに生きるかが大切です。国・県・市、それぞれ表彰制度を持っていますが、ぜひ、幸せという面から世に貢献した方を評価基準に入れたいですね。

●子どもが少なく、寂しい地域になってしまっているが…。

森田の考え…結婚し、子どもを持つ人が減っている現実があります。前述の「5段階説」に沿って考えれば、まず、生活が成り立つような収入が得られるような社会にすることが必要です。そして、私たちが、夫や妻、そして子ども、孫がいることの素晴らしさ、家族親族を含めて、他の人に貢献することが人間の幸せなのだという意識を、それを若い人や子どもたちに伝えていくことが大切です。

●年を取って移動する手段がない。

森田の考え…多くのバス路線が廃止され、通院や買い物に困るという方が増えています。地域を循環するコミュニティバスが充実してきていますが、カバーできない地区もあり、また運行費用も相当かかっています。行き先を調整できる乗り合いタクシーを、一定の制限を付けて安価で利用できるようにするなど、行政も利用者も費用が低く抑えられるような仕組みを取り入れていきましょう。

2月21日 新春の集い

ホテルガーデンパレス



平成28年を迎え、ご支援いただいている皆様の顔合わせ、懇親の場を持たせていただきました。

3月5日 「森田としかずと語る会」 行田商工センター



およそ150名の皆様にご参加いただき、お茶を飲みながら意見交換の機会を持ちました。

5月14日 「森田としかずと語る会」 羽生市民プラザ



蓮舫参議院議員、大野元裕参議院議員をお迎えしました。およそ300名の方にご参加いただき、皆様から大きな力をいただくことができました。

ボランティアへのご協力をお願いします！

森田としかずの活動は、皆様のご支援により成り立っています。お力添えをお願いいたします！

- 歩くご支援（ご挨拶回りへの同行、ポスティング）
- 事務所でのご電話かけ
- ミニ集会の開催（友人・知人・ご近所の方など、数名～）
- ポスターの貼り替え
- 事務作業（資料の発送作業、ポスター掲示の準備など）
- 街宣車の運転
- うぐいす
- カンパ（ご寄付）

事務所までご一報ください!!

11月23日 森田としかず連合後援会 ホテルガーデンパレス 総会・懇親会

森田としかず連合後援会 総会・懇親会



およそ600名の方にご参加いただき、多くの励ましの声をいただきました。上田知事、野田幹事長をはじめとする多くのご来賓の皆様にも駆けつけていただき、花を添えていただきました。

12月4日 森田としかずと行く 秩父鉄道SLツアー



SLに乗って長瀬へ。お昼の後は、ライン下り、または宝登山散策へ。「鉄ちゃん」つながりで、前原誠司衆議院議員にも参加していただき、楽しいひとときを過ごしました。



7月の参議院選挙にて大野元裕さんが当選！



9月11日 福島にて「花いっぱい運動」に参加！

2月22日 沖縄にて遺骨収集に参加

平成29年の活動予定

「新春の集い」のご案内

平成29年を迎え、各地区において皆様との懇親の機会を持ちたいと思います。皆さまお誘いあわせの上、ふるってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※なお、行田地区においては春の行事を計画中です。詳細は事務所までお問い合わせ下さい。

申し込み方法

森田としかず事務所、佐野宛にお電話またはFAXにて代表のお名前、住所、電話番号、ご参加の人数を添えて、お申し込み下さい。

加須地区新春の集い

日時 **2月11日(土・祝)**
11:00～

場所 **パストラルかぞ・多目的室にて**
加須市上三保2255

会費 **1,000円**
(軽食、飲み物をご用意いたします)

羽生地区新春の集い

日時 **2月19日(日)**
16:00～

場所 **ワークヒルズ羽生・大会議室にて**
羽生市大字下羽生1014-1

会費 **1,000円**
(軽食、飲み物をご用意いたします)

モリモリゴルフ会コンペ(予定)のご案内

4月20日(木)

熊谷ゴルフクラブ
会費 **3,000円**
(パーティー費)

※プレー費・昼食代は各自ご清算をお願いいたします。
※詳細につきましては、事務所までお問い合わせください。

モリモリツアー(予定)のご案内

新鮮な海の幸に舌鼓を打ち、日本一の夕焼けにうっとり!!



5月14日(日)
～15日(月)

新潟県 瀬波温泉 汐見荘
会費 **20,000円程度を予定**
(バス代、食事代、保険料、を含む)

※詳細につきましては、事務所までお問い合わせください。

宝塚ツアー(予定)のご案内

帝国ホテルでのランチ、そして憧れの宝塚へ!



6月中の開催を
予定しています。

帝国ホテル・東京宝塚劇場
会費 **20,000円を予定**
(バス代、昼食代、観劇チケット代、保険料を含む)

※詳細につきましては、事務所までお問い合わせください。

森田としかず事務所

(通称:モリモリオフィス)

〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
tel.048-530-6001
fax.048-530-6002

森田としかずプロフィール

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、熊谷高校、早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、早稲田大学大学院博士課程を経て、28歳で県議選初挑戦(23票差で次点)、県議2期を務めた後、
平成24年衆議院議員選挙(55,663票で次点)
平成26年衆議院議員選挙(57,299票で次点)
【現在】民進党埼玉県第12区総支部長 介護施設「上川原んち」代表
【趣味】鉄道、旅行、茶道、ものまね、カラオケ
【好きな言葉】「一期一会」 【尊敬する人物】勝海舟 【家族】妻と3人の子ども

